

企業を元気に、情熱系  経営マガジン

2018.10

VOL.  
49

●特集

コーケン・テクノ株式会社 / 日精工機株式会社

## 独自の技術を磨く、堺の企業

●「継ぐ」極意 ..... ⑤  
大切な仲間である社員たちと  
技術を磨いて、さらなる成長を  
田中铁工株式会社 田中 みどりさん

●堺のすご腕 ..... ② ③  
「匠の技」を武器に取引先を拡大  
山内鉄工株式会社

●SAKAIの傑作 ..... ①  
正統派ウイルトン織に  
こだわり続けて  
村上敷物株式会社

今回は、独自の技術を自社開発した堺市内の2社を紹介します。両社とも販売商社としてスタートしながら、まもなくメーカーとして、自社製品を開発・製造。国内外で高い競争力を発揮してきました。ポイントは、それぞれに得意とするシステム・機器に特化し、そこにヒト・カネという資本を集中投下してきたことのようなのです。

### 顧客の細かいオーダーに 대응して信頼感と安心感を獲得

1973年の創業当時は、欧米の溶射システムを輸入販売していたというコーケン・テクノ株式会社。しかし、その2年半後には、自社で独自に開発した最初の溶射プロセス「ガス式ワイヤー溶射ガンM1型」を発売しています。当初より国産の溶射システムのメーカーを目指しての創業でした。

「創業者である先代は、溶射機器を扱う商社に勤めていた時に、溶射の技術や知識を習得しました。当時は、欧米からの輸入製品が主流でしたが、自動車や橋梁などのインフラ関係の需要が急速に高まっている高度経済成長期を迎えて、国産の溶射機器を製造販売したいという思いを強めていったようです」と秋本浩二社長。しかし、最初に使い馴染んだ欧米製の溶射機器からシフトさせるのは容易ではなかったとか。顧客のさまざまな細かいオーダーに応えるため、技術者が顧客と直接打ち合わせをし、何度も試験

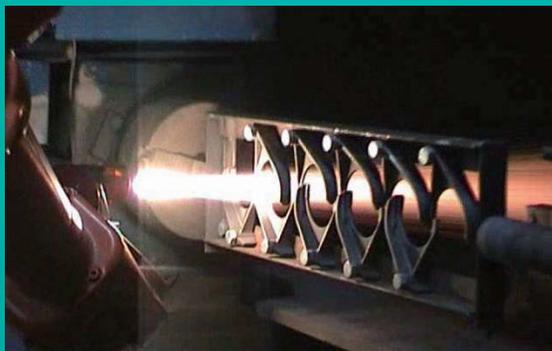
を繰り返しながらカスタマイズしたり、時には共同開発を行ったりという製品づくりを積み重ねて信頼感や安心感を獲得。市場を開拓していきました。

同社が長年蓄積してきた溶射技術の豊富なノウハウや、高い開発・設計力に加えて、製品をテスト・評価する技術に優れていることも強みで、それもまた同社への大きな信頼感につながっています。

### 全ての溶射プロセスに対応幅広い産業領域で活躍

溶射材料にはさまざまな金属や合金、セラミックなどの非金属などがあり、さらには燃焼ガス火炎、電気アーク、プラズマ炎といった加熱方式との組み合わせで、約10種類の溶射プロセスがあります。同社の最大の強みはそのすべてに対応していることでしょう。「溶射を行う目的は耐摩耗や防蝕、防錆のほか、電気を通すという導電性を求めることもあります。一つの溶射機器では幅広い工業分野の、全てのオーダーをカバーできませんから」と秋本社長が語るように、今日、同社の納入先は自動車から電子部品、鉄鋼、インフラ関連と多様な産業領域に広がっています。

例えば、燃焼炎中にワイヤーを連続的に送給して溶融した材料を圧縮エアで微粒化して吹き付けるガス式は、橋梁や造船など大型構造物によく利用され、溶射ガンが軽



シフトフォーク(自動車部品)への高速フレーム溶射ガンによるモリブデン溶射。



製造を外注する「ファプレスメーカー」であるがゆえに、製造設備資金を開発に回すことができる。

いたため現地での施工にも向いているとされま

す。  
一方、電気アーク式は連続的に送給される2本のワイヤーを交差させることで発生するアークの熱でワイヤーを溶融させるもので、ガス式よりコストが低く、しかも安全で制御しやすいのが特徴です。このアーク溶射の一部のアプリケーションで、コーケン・テクノは、トップシェアを誇っており、その理由は、それ専用の大きな電源を自社で独自に開発・製品化したことにあり、今なお、他メーカーにこれに対応できる溶射電源はないといえます。

### マルチスキルを有した人材を育成 海外からの売り上げが今や50%

こうした同社の高い技術力は、それを支える人材育成があつてのこと。「定期的に勉強会を開いているほか、展示会での説明員を務めさせ、本人の知識不足や責任感を認識させることで、モチベーションアップを図っています。大型案件については、リーダーを決め、仕様の打ち合わせから見積もり、受注後の仕入れ、工程管理までを任せて、マルチスキルを身につけた人材育成に努めています。当社の規模では、そうした人材が不可欠だと思えますね」。

今後については、2機種の新製品の開発を図るほか、さらに2機種の新製品の開発を計画中だとか。「溶射は複合技術の集まり



同社の溶射技術が活かされている自動車部品。



CASE

01

# 国産溶射装置のパイオニアとして 多様な産業領域で貢献

コーケン・テクノ株式会社 / 代表取締役 秋本浩一

です。当社としても、日々、進化を続ける技術を取り入れて、それらを融合、集約させることを絶えず心がけています」と話す秋本社長が次に狙うのは、省力化、省人化の流れを受けて、溶射装置とロボット、防音ボックスをパッケージ化したものを市場に広げることだと言います。

かつて欧米のメーカーを相手に苦戦した時代もあったという同社ですが、今や、北米やヨーロッパ、中東、東南アジアといった海外での売り上げ比率が全体の約50%。昨年、チエコでのある案件では、競合のアメリカとイギリスのメーカーを抑えて受注に成功しています。

「メイド・イン・ジャパンの誇りを持って、今後も日本のものづくりを支えていきたい」と秋本社長。代理店のないベトナムの企業が、タイで同社の溶射システムを見て発注してきたように、Coakenブランドがグローバルブランドとして確立する日も遠くなくそうです。

## コーケン・テクノ株式会社

代表者名 / 代表取締役 秋本浩一  
本社 / 堺市西区築港浜寺西町5-2  
TEL / 072-268-1201  
設立 / 1973年設立  
資本金 / 2,500万円  
従業員数 / 9名  
事業内容 / 各種溶射機の製造・販売、  
溶射自動車専用装置の設計・製作販売、  
溶射付属器具の販売、溶射付帯設備の  
販売、溶射材料の販売  
<http://www.coaken-techno.co.jp/>

## 他社にはない独自の技術で競争にならないことを目指す

創業は1969年。今年、50周年の節目を迎えた日精工機株式会社は、エア機器の販売商社としてスタートしましたが、競争が激しく利益を確保できないということで、1976年から自社製品の開発を進めてきました。

「蓄積してきた知識を活かすべく、当初からエア機器に特化しました」と森田昌孝社長。同社の優位性については、大手メーカーと違って小回りの利くところで、顧客の要望によってカスタマイズすることはもちろん、同社で販売した機器は納入後も手直しや修理の依頼に対応。さらには、可能な限り短納期にも応じているとか。販社ではなく、メーカーだからこそその強みだと森田社長は語っています。

エア機器の空気圧制御技術とは、大気を圧縮させて生成する圧縮空気がエネルギーを蓄積してピストンを動かし続けるもので、古くから利用されている技術です。あいまいな動きながら、安全で調整しやすく、また安価で改造しやすいことが特徴です。

メーカーとして同社が目指すのは「他社にはない便利なものの開発」で、それによって競争力を強化するというよりは、むしろ競争にならないことが理想だと考えています。例えば、先代の森田佳男会長が開発した製品「エア振動シリンダ」は、その独創的なアイデアゆえに、2001年に日本発明大賞の考

案功労賞を受賞。今なお、同社を代表する主力製品です。

## 独自に開発したエア振動シリンダのピストンの速度は通常の約10倍

「エア振動シリンダ」の特徴について、森田社長は「エネルギーを低減させないために、圧縮した空気が逃げないようにゴムでシールするのが一般的な製品の考え方ですが、当社のエア振動シリンダは、エネルギーを落とさない微妙なところで、わずかに空気を逃がしています。それによって、抵抗が小さくなるので振動スピードが高まるうえ、高頻度に動かしなくても温度が上がりにくいいため、磨耗が少なく、耐久性も向上しました」と語っています。

製品化に要した期間は約2年。通常のシリンダの約10倍という高速度で動くため、耐久性を高めるところで苦労しましたが、材質の選定と加工精度の工夫でクリアしたそうです。エア振動シリンダは粉体を流す時の詰まりを防止するバイブレーターとして活用されているほか、振動コンベアとして活躍しています。

エア振動コンベアは、コンベア自体が動いて物を運搬するベルトコンベアなどと異なり、その位置で水平に動いて運搬物を滑らせ送るので、床に運搬物が落ちないうえ、水に強く洗浄しやすいことから、食品や薬品メーカーの生産現場で多く採用されています。



穴あけ作業中の様子。顧客の用途に応じ、さらには使い勝手を高めるために丁寧なカスタマイズも行う。



勉強会などの機会を特別に設けず、日々の業務の中でベテランから若手技術者へ、技術の継承は自然と行われている。

また、空気中に揮発性ガスが含まれている可能性のある石油生成や石油化学、化学合成プラントなどでは、電気機器などが一切使えないため、そうした防爆領域にもエア振動コンベアが向いているそうです。

## 顧客からの難しい要望が技術力をさらに磨いて

最近では、同社の高い技術力を頼みとして、自動機などの省力機械の問い合わせも増えているといい、エア機器を組み合わせた省力化ロボットも手がけています。正確性を求められる部分については、電動シリンダを組み込むことで対応しているとか。

「難しかったり実現が面倒だったり、他社に断られたお客様からの依頼も少なくなく、私たちの新たな技術や機械の開発のきっかけも、そうしたお客様の課題や要望であることが多いですね。そうした課題解決や開発には、技術者全員で臨みます。なかには、『うちを実験台にしても構わない』とおっしゃっていただけるありがたいお客様もいて、納品後にもさまざまな改良を加え続けることもあります」と森田社長。

同社では、アイデアを出し合う提案制度を導入しており、これまでも振動コンベアを逆方向にも送れないかという要望や、別の顧客からの一つのコンベアを左右両方の向きに送れるようにしたいという要望に対して、1本のコンベアで完結させようと考えずに、



空気を圧縮させる際に、あえて空気を逃すというユニークな発想が評価された「エア振動シリンダ」。

CASE

# 02 逆転の発想で画期的な エア振動シリンダを実現

日精工機株式会社 / 代表取締役 森田 昌孝

逆向きの振動シリンダを2本用意することで解決するという、技術者からの提案で実現させた事例があつたといえます。

特に営業担当者を置いていないという日精工機の新規取引のきっかけは、顧客企業からの紹介や、ホームページで調べて問い合わせてくるケースがほとんどだとか。「当社の規模では、遠くの企業さんに対応するのはなかなか難しいのですが」と語る森田社長ですが、他社で対応できないから頼つてくれたと思えば、可能な限り応じています。例えば、ホームページを見たという静岡県内の企業からの、マイナス40℃の冷凍庫内でコンベアを動かしたいという突然の依頼については、まずエア振動シリンダを送つて、その環境で稼働することを確認したうえで、打ち合わせをし、試行錯誤を繰り返して求められる仕様を実現しました。

他社には真似できない独自の技術開発力は、それ自体が優れた「営業マン」だといえます。

## 日精工機株式会社

代表者名 / 代表取締役 森田昌孝  
本社 / 堺市北区奥本町1-183  
TEL / 072-251-5500  
設立 / 1969年設立  
資本金 / 1,200万円  
従業員数 / 8名  
事業内容 / エア機器を応用した省力化・自動化機器の開発、製造、販売。  
エア機器の卸し販売。  
<http://nissei-kouki.com/>

# 「継ぐ」 極意

代表取締役  
田中 みどりさん

高校を卒業後、父である先代から「ちよっと会社を手伝ってほしい」と言われて入社。納期管理などを手伝ううちに、やがて銀行や顧客との面談にも同席させられるようになったといいます。「家業を継ぐ」という意識の全くないままの入社でしたが、娘二人しかいませんでしたから、父は最初から後継者にするつもりだったのかもしれないね」と田中みどり社長。姉と違って、小さい頃から工場が好きで、自転車やバイクで来ては、服が汚れるのも気にせず職人たちと過ごしていたとか。社長に就任した今も社内では「みどりちゃん」と呼ばれる関係です。「今年1月に亡くなった先代はお客様や4つの工場など、たくさんの方を遺してくれましたが、一番大きなものは、仲間として一緒に仕事をしてくれている社員たちです」と語っています。

3年前に代表取締役役に就任。会社を託された責任を実感するとともに、会社の未来をより良くするための施策を自ら考え、実行できることにやり甲斐も感じています。

「生産効率を高めるため、外部から講師をお招きして勉強会を行いました。現在進めている、5S活動もその一環で、工具がないと探し回る時間や見つからないからと購入する経費の無駄をなくすために始めました。当初は掃除している暇があれば、いつでも加工したいと抵抗がありました。今ではそのメリットを実感してくれているようです」。

加工の難しいアルミやSUS3030をはじめ、インコネルやモネルといった新しい材質の加工にも対応できるのが同社の強み。「簡単な仕事は海外に流れても、日本でしかできないものづくりがある」と、今後は高い技術力を活かして、幅広い分野で顧客を新規開拓したいと考えています。

大切な仲間である社員たちと  
技術を磨いて、さらなる成長を

## 田中鉄工株式会社

堺市中区大野芝町201-1 TEL/072-236-0010

自動車用から新幹線を含む鉄道車両用部品をはじめ、工作機械のスピンデルやガスタービンブレードの加工といった高い信頼性の求められる精密加工を担う。1個の試作品製造から量産まで対応できるのが強み。  
<http://tanakat.com/>



# 堺の伝統を未来へ。

堺市の伝統産業に従事する、若手職人を紹介します。



高田麻矢さん



ホクホク感を出すため水分の少ない最高品種のさつまいもを使用した、美乃や名物「スイートポテト」



明るくカジュアルなカフェには、幅広い世代の方が来店されている。」

## 和菓子を自由に楽しむ和カフェを開業

茶道の始祖である千利休が生まれた地として、堺には茶道文化が深く根付き、和菓子店が数多くあります。明治42年創業の「浜寺創菓庵 美乃や」も、その一軒。高田和夫社長は、堺市ものづくりマ이스ターとして、堺の和菓子を広くアピールすべく、毎月、堺伝統産業会館で和菓子作りの実演を行っているほか、小学校に出向き、和菓子づくり体験を指導しています。

美乃やと言えば、名物スイートポテトが大人気。昭和3年に、先代が洋菓子のスイートポテトをヒントに考案したもので、当時はさつまいもを使った和菓子はとても珍しいものでした。レシピは現在の高田社長が現代の嗜好にあわせて見直していますが、胃腸に良いというさつまいもの皮の一片を敷いているのは当時のままです。そのスイートポテトを離乳食代わりに育ったと語るのは、美乃やの次代の担い手として期待される高田麻矢さんです。大学卒業後に美乃やに入社し、10年以上、製造現場で和菓子づくりを学んできました。「物心がついた頃から、家族みんなが和菓子づくりをするのを見ながら育ってきました。友だちによく羨ましがられましたが、それが当たり前前の風景だったんです」。

麻矢さんは昨年8月、美乃やの隣に「美乃や和かふえ TeFoPo (ティフポ)」をオープンさせました。店名は「茶(Tea)」と「フード(Food)」そして「スイートポテトの「Poteto」から頭文字を取ったものです。「さまざま

な世代の方に寄っていただき、お茶と和菓子とおしゃべりを楽しんでくださるお店ができれば」と考えたとか。実際、週に3回通って来られる90歳を超えた常連さんもいるそうです。

メニューは、美乃やの和菓子はもちろん、美乃やで作られる餡を使ったぜんざいや、夏はかき氷も。さらには、ハンバーグプレートやカレーライス、おにぎりセットといったランチメニューもあり、「お子さんを連れた若いお母さん同士や、ランチ目的で近隣の会社から来店されるお客さんも増えました。店頭で和菓子を売るだけでなく、召し上がっていただいて『おいしい』という声こそばで聞けるのも嬉しいですね」と語っています。

カフェを通じて、和菓子をもっと自由に、もっと気軽に楽しんでもらいたいと麻矢さん。「昔と違って、おいしいものが世の中にあふれている現代では、堺の和菓子店もそれぞれが、特徴ある製品づくりをし、ファンを作っていくことが大切なんだと思います」と話していました。

取材協力

### 浜寺創菓庵 美乃や

堺市西区浜寺諏訪森町中 2-180  
☎ 072-261-0407

### 美乃や和かふえ TeFoPo

堺市西区浜寺諏訪森町中 2-179-4  
☎ 072-261-0407  
毎週月曜定休  
9:00 ~ 18:00 (土日は 10:00 ~)

# 工場の現場改善実践塾 5Sで工場を営業の武器にする STEP3 中間報告会 聴講者 募集!!

「平成29～30年度 工場の現場改善実践塾」参加企業5社が、平成30年2月から平成31年3月までの14ヶ月間に渡り、工場を営業の武器にすべく現場改善（5S）に取り組んでいます。

今回はその取り組みの中間報告会を開催します。併せて現場改善に取り組み、企業の経営力を高めることに成功した広島県の企業（㈱内海機械様）にも事例を紹介いただきます。

本報告会は、これから5Sに取り組みたいとお考えの企業様にとって、現場改善を推進する手法や取組による効果などを体感できる内容となっています。皆様のご参加を心からお待ちしております。

【日程】平成30年10月27日（土） 14：00～16：30

【場所】堺市産業振興センター 4階 セミナー室4

セミナー詳細及び申込はこちらで確認できます。

→ <https://www.sakai-ipc.jp/news/seminar/5s-step3.html>



堺市 現場改善実践塾

検索



## さかい健康医療ものづくり研究会 第4回例会を開催

当研究会では、看護・介護の分野において施設から住宅へと移行する傾向となっている中、病院や施設で使用されている器具等が在宅へも取り入れられていくことに着目し、今後、在宅にて必要となるであろう機器のニーズについて看護・介護それぞれの分野の専門家から下記のテーマでご講演いただきました。セミナー後のワークショップでは、会員企業が持つ技術シーズの活用可能性についてセミナー講師を交え有意義な意見交換が行われました。

また、後日、希望者とセミナー講師との面談を実施し、看護・介護分野への参入をサポートしました。

### ■セミナー①

「在宅看護の現状と将来から考えるものづくり」

講師 岡本 双美子 氏 大阪府立大学大学院 看護学研究科 准教授

### ■セミナー②

「現場のニーズを踏まえた福祉用具・介護ロボットの研究開発」

講師 五島 清国 氏 公益財団法人テクノエイド協会 企画部長

お問合せ 公益財団法人堺市産業振興センター 経営支援課 さかい健康医療ものづくり研究会事務局  
TEL 072-255-6700



※第4回例会（7月2日開催）

研究会会員  
募集中です。

## 堺線香まつり

日時：平成30年11月10日（土）、11日（日） 10:00～16:00

場所：堺市産業振興センター（メイドインさかいフェア会場内）

メイドインさかいフェア2018に合わせて開催される堺線香のイベントです。

中でも子ども達による線香作り体験が大人気で、作業後には「キッズ伝統工芸士」としての認定書をいただき、線香を持ち帰ることができます。また、線香つかみとりや良質な線香を割引価格で購入することができるのも魅力です。

お問合せ

TEL 072-233-4913（堺線香工業協同組合）



※以前の堺線香まつりの様子

# 堺市中小企業融資制度のご案内

堺市中小企業活力強化  
資金融資の拡充

保証料率引下げ

対象業種を製造業、情報通信業など6業種に限定

対象業種を撤廃し**原則全業種対象\***となりました ※農林漁業など一部対象外の業種があります

保証合計額	500万円以下	1,000万円以下	1,000万円超
特別料率	年0.50%	年0.70%	年0.90%

特別料率	年0.50%	年0.70%
------	--------	--------

(注)堺市産業振興センター保証の特別料率 (一部適用されない融資メニューがあります)

堺市中小企業活力強化資金融資等一部の融資では、事業者が堺市産業振興センターに支払う信用保証料を堺市が全額負担します。詳しくは、堺市のホームページをご覧ください。堺市産業振興センターまでお問い合わせください。

お問合せ先・申込先 公益財団法人堺市産業振興センター 金融支援課  
TEL 072-255-8484 FAX 072-255-5162 (融資お客様専用フリーダイヤル) 0120-072-232  
堺市HPアドレス: <http://www.city.sakai.lg.jp/> から「堺市中小企業融資制度」で検索してください

## 「イベントホール・セミナー室・会議室」 貸会場のご案内

イベントホールをはじめ、コンベンションホール、大小会議室、セミナー室、小ホールなど、幅広く対応可能な14会場をご用意しています。会議、研修会、講演会、展示会、パーティなどにご利用ください。

- 【利用時間】9:00~21:00
- 【休館日】年末年始(12月29日~翌年1月3日)
- 【駐車場】約230台(無料)
- 【最寄り駅】中百舌鳥(なかもず) 駅から約300m

堺市産業振興センター 貸会場お問合せ先  
TEL 072-255-0111 センターホームページ (<https://www.sakai-ipc.jp/>)



イベントホール(展示会形式)



セミナー室5(スクール形式)

中小企業を  
全力応援



公益財団法人  
堺市産業振興センター

堺市産業振興センターでは、経営相談や技術開発支援、各種セミナーなど研修に関する事業、堺市内中小企業に対する融資関連事業、地場産業の紹介・製品展示・販路開拓に関する事業、情報誌やホームページ・メールマガジンなどによる産業情報発信、イベントホールや会議室などの貸出事業と多種多様なサービスでビジネスをサポートしています。

スマートフォンやタブレットで読める!  
ざかいIPCプレス デジタルブック配信中

無料の専用アプリ、ブラウザでも閲覧OK!

便利な機能がいっぱい!

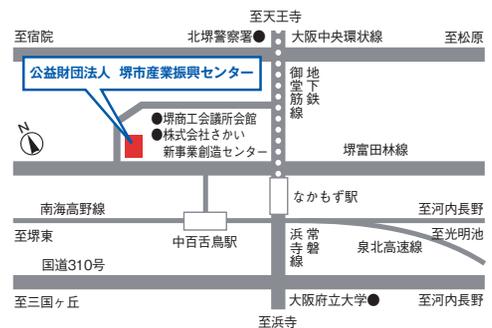
7言語対応

[日・英・中(簡体)・中(繁体)・  
韓・タイ・ポルトガル語]

文字ポップ  
アップ機能

本文音声  
読上げ

※ブラウザ版は音声読み上げには対応していません。



◎南海高野線中百舌鳥駅より約300m◎地下鉄御堂筋線なかもず駅より約300m※駐車場は、隣接の来客用駐車場(無料)がございますが、できるだけ電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

〒591-8025 堺市北区長曾根町183-5  
TEL.072-255-3311(代) FAX.072-255-5200  
<https://www.sakai-ipc.jp/>



角パイプやフラットバーなど多数の素材を高精度に加工する「液晶用半導体露光装置」。

### “年功序列”を廃止し、 高い技術に正統な評価・待遇を

発注者が求める以上の高度な技術を提供したいと、同社では、設備のプログラミングとオペレーションを分業せずどちらもできるようにするなど、全工程を



新規開拓に際して、ハードルの高い新しい加工にも、失敗を恐れずに挑戦することを求めた結果、技術力はさらに向上したと山内社長。

直接描画装置や液晶用半導体露光装置へと拡がり、今や1千万円を超えるお取引となった企業さんもあります」と山内社長。

その後も大型有機EL露光装置の部品、無人搬送装置、リチウムイオン電池のカバーフィルム巻き取り装置の部品と、複数の産業領域で取引を拡大中です。それを実現できたのはもちろん、その土台に同社の高い技術力があってのこと。同社で「匠の技」と表現している技術力について、山内社長は「精密加工には機械化できない感性が必要だと思っています。例えば、どのような加工が、どれほど熱を持つのか、膨張するのか。それは材料や加工している現場の気温などの環境によっても違ってきます。当社の技術者は、長年に蓄積した経験値でそれに繊細に対応しているんです」と語っています。

見通しながら作業が行える技術者を育てているとか。一方、昔のように「わしの背中を見て覚えろ」は通用しないとも考える山内社長は、工程ごとのマニュアル作りにも取り組みたいと言います。

自らスキルを磨いたり、経営者意識で行動したりできる社員には、年齢や勤務年数に関係なく、その評価を給与に反映させるようにしました。「納期を確実に間に合わせるよう、自分で考え行動してくれる社員が増え、ありがたいことです」と山内社長。アドバイスをされた八角形は今や5辺を埋めたといいます。今後も機動力を活かして、顧客企業のかゆいところに手が届く“小さな巨人”でありたいと語っていました。

#### 山内鉄工株式会社

代表者名／代表取締役 山内 忠  
 本社／堺市西区鳳東町6-624-7  
 TEL／072-274-0728(代)  
 設立／1963年設立  
 資本金／1,000万円  
 従業員数／29名  
 事業内容／精密機器・半導体部品製造、産業機械・工作機械部品製造、各種ダイヤモンド工具製造、切削金属加工・金型製造  
<http://www.yamauchiiron.co.jp/>





常に最新の機械を導入することで、ハイレベルなものづくりを実現。  
「門型マシニングセンター」は、同時に高精度な5面加工ができるのが特徴だ。

## 「匠の技」を武器に取引先を拡大

### 山内鉄工株式会社

#### ITバブルの崩壊などの体験から 一社偏重からの脱却を図って

1963年に創業し、長くダイヤモンド工具の製造で豊富な実績を誇ってきた山内鉄工株式会社。それを強みとして、かつては、ある1社との取引で売上の80%以上を占めていたこともあったといいます。2001年頃のITバブルの崩壊や、2008年のリーマンショックを経て、そうした状況に強い危機感を抱いたのが、7年前に代表取締役役に就任した山内忠社

長です。「ITバブルが崩壊した時は、前月に1千万円あったある得意先からの売上がゼロになり、リーマンショックの年は、売上は半減。経常利益も5%を切る事態になりました」。

そうした時にアドバイスされたのは、亀の甲羅のような八角形を考え、現在の自社が強みとする産業領域を一つの辺と考えるなら、そこで培った技術を活かして、その辺に接している隣の辺への進出も可能なのではないかということだったそうです。

#### 半導体や有機ELなど 先端産業向けに新規開拓

「一つの産業領域に絞り込むことのリスクを回避するため業界を分けて、しかもその業界で最大手の企業さんとお取引したいという目標を掲げて新規開拓に回りました。ちょうどスマートフォンがこれからという時期だったので、まずは半導体事業から攻めたところ、最初はわずかな取引額からのスタートでしたが、プリント基板外観検査装置を皮切りに、

# 堺IPC PRESS

SAKAI CITY  
INDUSTRIAL  
PROMOTION CENTER

[www.sakai-ipc.jp](http://www.sakai-ipc.jp)

## PRESS

堺に活気を、ものづくり  応援マガジン

2018.10

VOL.  
**49**

## SAKAIの傑作

### 正統派ウilton織に こだわり続けて

無地の深い赤色の絨毯(写真手前)は、国会議事堂で敷かれているウiltonカーペットです。村上敷物株式会社が、代々、国会議事堂で敷かれているものを忠実に再現し納めました。その他にも、村上敷物のウiltonカーペットは、日本を代表する超一流ホテルのロビーや新幹線グリーン車のカーペットに採用されています。

3千年前にペルシャで生まれた手織り敷物がヨーロッパ諸国へ伝わり、その後、18世紀頃の産業革命により機械化されました。イギリスのウilton織機もその一つ。縦糸と横糸を交錯させ、それにパイル糸をからみ合わせて丹念に織り込んだウilton織は、緻密で弾力に富み、耐久性が高いのが特徴です。村上敷物は、この正統派のウiltonカーペットにこだわり続けてきました。「プラスチックのコップとクリスタルのグラスでは、ウイスキーを飲む時も氷のふれる音やウイスキーの色が全く違うでしょう？ 私は必ずホンモノは、それを見極められる人たちによって愛され続けると信じていますし、私たちもそれを伝える努力をしないといけないと考えています」と村上健社長。

今後は同社で培ってきた技術を、イスの生地や日本人に馴染み深い畳といった製品に転用できないかと考えています。

#### 村上敷物株式会社

代表者名/代表取締役 村上 健  
本社/堺市南区原山台5-17-7  
TEL/072-297-0161  
設立/1961年設立  
資本金/2,000万円  
従業員数/約40名  
事業内容/別注織じゅうたん、シングルウilton、  
アキスミンスター、フラットウーブン(平織)、  
別注ハンドタフトカーペットなど  
<http://www.primula.co.jp/>



1